

### 第3回鶴岡市総合計画審議会 会議概要

- 日 時 令和5年10月26日(木) 午後3時00分から午後4時45分まで
- 場 所 東京第一ホテル鶴岡 鳳凰の間
- 出席者 別紙委員名簿のとおり(委員15名中13名出席)
  - 出席委員 本間新兵衛委員、平智委員、上野隆一委員、大久保紀子委員、上野雅史委員、工藤久子委員、齋藤祥子委員、山木知也委員、庄司愛恵委員、大橋由明委員、丸山絢子委員、山中大介委員
  - 欠席委員 酒井忠順委員、福原晶子委員
- 傍聴者 5名
- 協議題等 (1) 第2次鶴岡市総合計画後期基本計画の構成と前文案について  
(2) 成果指標(KPI)の見直し案について

#### (1) 第2次鶴岡市総合計画後期基本計画の構成と前文案についての意見等

- ・「人口減少が進む中、この状況が続くと事業の継続や継承の課題が一層大きくなる」とあるが、事業継承については一般的には適した後継者が不在だったり、継者の育成不足、継承地の経営状態というものがあるので、人口減少で人材不足になれば継承にも関わるが、実際は継承は人口減少とは関わりがないというように私は捉える。
- ・「防災リテラシー」は言葉の説明書きを入れた方が良い。
- ・新型コロナウイルスの記載について、このとおりだと思うが、ただ現象を書いて終わっているので、他の項目のように、方向性や求められていることの説明を少し入れた方が良いのではないか。
- ・「第1はじめに」のところかどの地方都市にも当てはまるような文章になっている。最初の文章でとても大切なところだと思うので、ここにユネスコ食文化創造都市や全国最多3つの世界遺産などの鶴岡市の特性や特徴を分かりやすく明記すべきではないかと感じた。
- ・稀有な資源を十分に生かして、それを多くの人からインバウンドも含めて訪れてもらうということと、ここに移り住んでくれるような人をこれから増やしていくことが次の5年の具体的な目標だと思う。
- ・今この時点でどういうことを考えたかということが将来を生きる人に分かりやすく伝えられる、総合計画であるべきだと思うので、あまり一般的な表現はできるだけ抑えて、今ここでどういうことを考えているかということを知りやすく、はじめのところに書いていたきたい。

- ・漠然とした言い回しになっているので、食文化や日本遺産、インバウンドなど、目標をもう少し具体的に書いた方が良いと思う。良い材料はあるので、そういうことを具体的に少し盛り込んでいくという必要があると思う。市民に対して示すわけなので、市民がどういう方向で今鶴岡市が向かっていくのかがわかる必要がある。
- ・基本構想を土台にしながら、残り後期5年間でどうしていくのかをもう少し書いても良いと思う。
- ・森林資源や食文化創造都市はやはり鶴岡市の特徴なので、ぜひ入れようと当初の計画を作った時の記憶が蘇った。後期基本計画でも引き続き押していく部分や、捉え直し再構築してここに載せることが必要なのではないか。
- ・鶴岡市民としての誇りを基本とし、未来に向かっていくんだと夢を描けるような文章にすると良いと思う。
- ・総合戦略と一緒に作ると記載があるが、総合戦略見直しのポイント図を入れてもらうともう少し分かりやすくなると思う。
- ・総合計画に包含するという記載があるが、別冊として作り付録として付けるという話になっている。中途半端な感じがする。この言い回しはどうしてこのようになっているのか。  
→（事務局）表現方法、先程ご指摘いただいた内容を踏まえてもう一度再検討したい。内容的には総合計画に基づいたものとなっており、一体的に企画専門委員会でまとめて評価・検証を受けたいというのが今回の大きな目的となっている。
- ・計画の背景と課題であるが、前期計画を少し手直ししたぐらいの感じになっている。この計画をどういう課題を踏まえ作るのかをもっとここに書かれなければならないが、前期計画と課題認識が変わっていないと感じる。
- ・「高齢者人口割合と一人暮らし高齢者等の世帯の増加」の項目では核家族化やお一人さま8050問題などが大きな問題で、ひとり暮らし高齢者やひきこもり世帯というのは20年前の課題だったのではないかと思う。これらの問題は、それぞれが関連しているので、もう少し一体的に見直して書き込んでもらえるとありがたい。
- ・SDGs 未来都市の説明のところで、生活の幸福10点満点をKPIにしているが、これは行政政策全体の成果としてのKPIとしては良いかもしれないが、福祉施策のKPIとして用いるのだとすれば間違いであると思う。例えば障害者や、ひとり暮らしの高齢者、生活困窮している人など十把一絡げにして、それを何点だという形で福祉施策の評価をしようというのであれ

ば間違いだと思う。他に何かKPIがあるのかと言われると私も思いつかないので、その辺りはもう少し工夫をしてほしい。

- ・この基本計画などを初めて見たが、鶴岡の特徴、強みを生かして頑張っていくぞというところがあまり感じられないと思った。

## (2) 成果指標（KPI）の見直し案についての意見等

- ・新型コロナウイルスの世界的大流行（パンデミック）やウクライナ戦争で改めて日本が資源に乏しい国であることが明らかになった。後期基本計画の中でエネルギーと農業用の肥料、飼料への対応を今後どうしていくのかを考えなければならない。再生可能エネルギーやエネルギーの地産地消、農業分野での地産地消を考えなければならない時代になる。エネルギーと肥料の問題はもう一度見直し、せめてこの2つは入れた上で、KPIに繋げるべきだと思う。
- ・定住人口はこれから減っていく。それが増えることを前提に考えるからKPIが薄くなってしまっていると思う。定住人口は増やすのはベターだが、そもそも論として日本の合計特殊出生率は1.24であるので、分母は増えない。地方がどう生き残るかという、関係人口が重要であり、受け入れ側の準備も必要で、今北海道の東川町が保育園留学を始めていて、すごい数の応募があり、受け入れている。このほか、地方企業の副業が重要であり、ベンチャー企業が新しく副業サービスを始め盛り上がっている。働き方を変えるということを考えて関係人口をいかに引っ張ってくるかという施策がこの5年間で大きく変わったポイントなのではないかなと思う。
- ・コロナのときに変更した数字と今回の数字の関係性が何かあれば教えていただきたい。  
→（事務局）目標値の下方修正では、櫛引地域の観光入込数などについて下方修正と専門委員会の協議の中で変更している。一方、KPIの見直しについては、上方修正したのも一部あり、コロナの影響によるものではないかと思われるのは教育旅行受け入れ学校数の上昇などである。
- ・もう少し上方修正できる項目があったら、コロナの影響からの回復とかそのような意味合いを持たせた方が良いと思う。
- ・コロナについても一般的な書き方になっていて、鶴岡市民の社会福祉生活や社会経済に与えた影響というような記載をしないといけないと思う。例えば、山形県が県境を越えた移動制限の要請に対し、鶴岡市も同調して、いつからいつまで行ったなど、何人以上の集まりは制限したとか、そのような具体的な記録をやはり残しておかないと、後期計画にならないのではないかなと思う。

- ・ KPI について、下方修正については理由を詳しく明確に書く必要があると思う。下方修正をした理由に、思うようにいかなかったのではなく、もっと具体的にこうだからということを書き記しておく必要があると思う。
- ・ 基本計画は行政と住民との約束事であり、自治体の将来目標あるいは施策を示すことで住民、事業者、行政が行動を起こす基本的な指針になると思う。これを住民に分かりやすく伝えるのは「見える化」が必要であり、その一つは KPI だと思うが、数値を誰がどう決めたのかというのは興味、関心がある。未達成となれば責任問題にもなるので、どうしても行政は安定に傾くがある程度の冒険も必要だと思う。目標値を上げておくことによって何ができなかったかなどが PDCA を回すことによって見えてくる。
- ・ KPI の値の妥当性を誰が判断するのか、それがどういう根拠によってその数値が付されたのかが少し見えない。
  - (事務局) KPI によって計算方法が全く異なっており、実績値から計算して導き出すという手法をとっていると思うが、専門委員会では計算方法等も必要に応じて示して諮っている。
- ・ 人口減少により、色々なことができなくなっているのが目に見えて分かってきている。KPI も冒険をという、まずは小さくても達成できることが多い方が良いのではないかと感じている。
- ・ 5つの加速化アクションの KPI にもう少し子どもの視点を入れられないか。こども基本法ができたが、改めて大人中心の社会から、次世代を担っていく人たちを中心に考えて、例えば幸福度に子どもの視点もあっても良いと思う。
- ・ KPI の修正や追加に関しては、その理由がわかるように記載した方が良い。
- ・ 婚姻率が KPI の数値に入っているが、今「婚姻」という形によらないパートナー制度などもあるので、この言葉を使うのは気をつけた方がいい。もしくは、それ以外の方々にも配慮するような記述をした方がいいと思う。

## その他の意見等

### 暮らしと防災分野

- ・ 青年会議所の方で防災訓練をしたが、救急車が 8 台しかないことを初めて聞いた。年間 1,000 件の出動に対し 8 台で回しているということを知った。自分たちで命を守る防災についても関わってくると思った。

## 福祉と医療分野

- ・鶴岡に移住してから子育てをする中で、いろいろな子育てサークルにも参加したが、子どもをみている人がおばあちゃんなど年配の方で、若い人とどう知り合ったらいいのかと孤独を感じた。子育てをしている若い人がどういった課題を抱えているのかをもう少し聞いて、具体的な施策を考えていかなければならないと思う。
- ・鶴岡の特徴のひとつに温泉がある。4つの国民保養温泉地も一緒に、温泉を使った健康増進などを取り入れていただけたらと思う。

## 農・林・水産業分野

- ・飼料価格が上がって、農家をやめようと言う人もいる。農業人口が多い鶴岡市にとっては大きな問題である。
- ・水田1本でやってきた人が何とか生き残れる、鶴岡市は米で生きていくんだというような明確な表示など、他から比べてもこれだけ水稲栽培に適したところはないと言われるほどの地域なので、何とか生き残っていくような、農家人口は少ないかもしれないが、やはり米で頑張るということをアピールしてほしい。

## 商工と観光分野

- ・かなりの企業が新卒をとれない状況がだいぶ続いている。高校生を頼りにしては人口減もあるのもう遅い。一方で65歳を過ぎても働ける方というのは多い。そういう方をこれから働いてもらうように進めていく必要がある。働き手の確保だけ目的にするのではなく、健康寿命の延伸のために社会と関わることも訴えると良い。
- ・鶴岡商工会議所青年部が江戸川区民祭りでいも煮汁の販売をした。野菜価格の高騰で単価を200円アップし1杯700円で売ったが、それでも完売した。東京の方と鶴岡の方の金銭感覚は違うと感じた。時給は、鶴岡、山形は低いので、もう少し給料も上がれば帰ってくる人も増えるのではないかと感じた。

## その他

- ・現状維持したい気持ちはあるが、それは無理であり、その発想の転換をどのタイミングでするかというときに、この後中期基本計画の策定がある。ポストコロナで色々なことが変化している。  
どこに向かっていて、どういう未来が描けるのか、そのストーリー、鶴岡市の物語をどのように描いていくのか。新しい挑戦や新しい価値、変化も取り入れた方が良いのではないか。